

Injury Alert (傷害速報)類似事例

プラスチック製サイコロの誤嚥による窒息 (No. 47木製おもちゃの誤嚥による窒息の類似事例2)

事 例	年齢：0 歳 8 か月 性別：女児 体重：8kg 身長：62cm
傷害の種類	誤嚥
原因対象物	プラスチックのサイコロ(写真 1: 1 辺 2cm 大の立方体) 父が 10 年ほど前に購入したトレーディングカードゲームに付属していたサイコロ(2 個セット)
臨床診断名	気道異物、誤嚥性肺炎
医療費	480,170 円
発 生 状 況	発生場所 自宅のリビング
	周囲の人・状況 本児はリビングで、兄(3 歳)と遊んでいた。
	発生年月日・時刻 2017 年 9 月 30 日 午前 9 時 0 分頃
	発生時の詳しい様子 と経緯 本児は、発達歴に異常の指摘はない。 3 歳の兄が普段からトレーディングカードゲームで遊んでいた。本児がいるときには、サイコロを片付けるようにしていた。 本児がリビングで兄と遊んでいる際に嘔吐した。不穏となり、口唇チアノーゼが出現したため、母が救急要請した。
治療経過と予後	救急車内では酸素投与が行われ、チアノーゼは認めなかった。病院へ搬入した際には、軽度の分泌物貯留音を認めたが、吸気性喘鳴や陥没呼吸は認めなかった。体位変換などで容易に嘔吐やえづく様子が見られ、口唇チアノーゼと SpO ₂ 40-60% (大気下) と低下を認めた。その後、吸気性喘鳴と陥没呼吸が出現したため異物誤嚥が疑われた。頸部側面 X 線検査 (写真 2) で、喉頭に 2cm 四方の異物 (写真 2 の矢印) を確認した。 上記を踏まえて母親から追加の病歴聴取を行った。母は誤飲の瞬間を目撃していなかったが、状況からサイコロの誤嚥であると診断した。十分な鎮痛鎮静を行い、気道確保をしながら喉頭展開し、マギール鉗子を使用して異物を除去した。異物除去後も、換気不全と陥没呼吸が続くため、気管挿管を実施し、人工呼吸管理を開始した。その後の胸部 CT 検査では、残存した異物は認めず胸部背側に誤嚥性肺炎を疑う浸潤影を認めた。抗菌薬、ステロイドの静脈投与を行なった。入院 2 日目に抜管したが、上気道狭窄症状や努力呼吸は認めず、酸素投与も不要であった。入院 3 日目に抗菌薬治療を内服に変更し、入院 5 日目に退院した。

写真 1. 原因対象物となったサイコロ（1 辺 2cm の立方体）

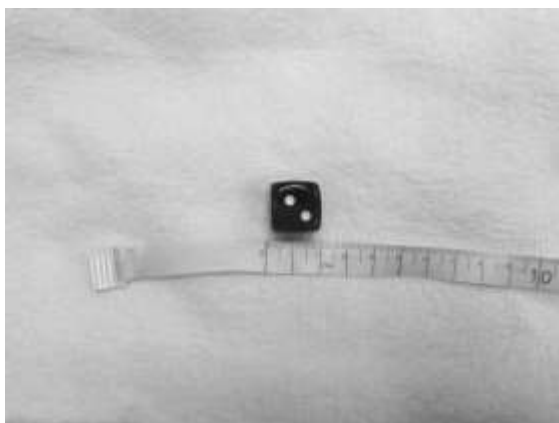


写真 2. 頸部側面 X 線検査（患児の喉頭に 2cm 四方の異物を認める）

